

# すうがく

北海道算数数学教育会  
中学校部会発行  
<http://hokusuukyoku-cyuu.com/>

## 第60回 北数教 札幌大会へのご協力心より感謝します

北海道算数数学教育会中学校部会長

札幌・藻岩中学校長 豊田 裕而

今年は降雪量が多く、あちこちで雪害などのことを耳にしますが、北数教会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度は第60回北数教研九大会を、会員の皆様方をはじめとして関係各位のご協力も得ながら無事に終了することができました。これまで授業実践を大切に、数学の学習を通して生徒たちに数学の良さを味わわせることを目指し、諸先輩や多くの会員の皆様方のお力を借りながら準備を進めてきました。北海道の数学教育の発展と充実を願いながら、北数教がその中心となって研究を進めてきました。

今回は、主題を「未来を開く算数・数学教育の創造」と掲げ、札幌市立藻岩中学校を会場に6本の研究授業と4つの領域別分科会を行いました。参加される皆さん方に見ていただくために授業者をはじめとして、授業協力いただいた先生方を中心として本当にかんばっておりました。しかし、その苦労も、当日ご参加いただいた皆さん方からの温かな言葉やいろいろなご意見、また、深いお考えをいただいた先生方に大きな財産となって残ったのではないかと考えております。本当にありがとうございました。

世はまさに義務教育の在り方から始まって、学習指導要領の見直しについてのまとめとして「中央教育審議会 初等中等教育分科会・教育課程部会 審議経過報告」が発表されたところでもあります。それによれば、「2 教育内容等の改善の方向 (1) 人間力の向上を図る教育内容の改善 (2) 具体的な教育内容の改善の方向」の中で、「2) 国語教育、理科教育、外国語教育の改善」のところにおいて

すべてに亘って言っているわけではありませんが、次のような項目があります。

○数や計算、図形などの基礎的・基本的な知識・技能は国語力と同様、生活や学習の基盤となるものであることから、具体物を用いた実感的な理解、実生活への活用を考慮に入れつつ、反復学習など丁寧な繰り返し指導により確実に定着させることが必要である。

○図形についての直感的な理解については、適切な段階で適切な題材を取り上げる。また、実生活との結び付きが深い統計などについては、指導を充実する必要がある。

○また、算数・数学においては、内容の理解をより深めるために、問題を解決した後、その過程を振り返ったり、問題を発展させたりすることが大切である。

このように述べられている。今年の授業だけではなく、北数教における現在の研究は、適切な課題の選択とその提示の仕方、指導や支援の在り方等のわかる授業を構築をどの様にはかるといことが、中学校部会の研究主題である「『生きる力』を育てる数学教育の実践」という主題の影にあることを考える時、会員各自が一層主体的に研究に向かうことが求められていくことになると思われます。18年度は小樽・後志大会に向けてそれぞれが準備を進めていると聞いております。

会員の皆様方、ぜひ秋の小樽・後志大会でまたお会いしましょう。今年の札幌大会については繰り返しになりますが、ご協力本当にありがとうございました。

## 60周年記念事業（式典・祝賀会部門）を終えて

記念式典・祝賀会部会委員長（中学校部会副部会長）  
札幌・東栄中学校長 里谷 彰

昨年、10月20日、21日の両日に開催された第60回記念北海道算数数学教育研究大会札幌大会は、盛会裏のうちに大きな成果を上げ無事終えることができました。

今年度は設立から60周年という節目の年



を迎えることから、その記念事業を行うべく前年度から記念事業実行委員会を立ち上げ、小学校部会、高等学校部会と業務を分担し、相互に連携して準備に取り組んできました。

平成16年9月開催の第1回実行委員会において、主たる分担を、小学校部会は記念誌の発行、高等学校部会は記念講演、そして中学校部会は記念式典及び記念祝賀会とし準備をスタートさせました。準備をスムーズに行うために、統括事務局が総合調整を図り、各部門には小・中・高の3校種から委員を出して横の連携にも配慮しながら取り組みました。

中学校部会は「記念式典及び記念祝賀会」を主に担当しましたが、中学校部会からの6名に中学校所属の統括事務局員が2名加わり、小学校部会から2名、高等学校部会から2名の合計12名で準備に当たりました。

50周年記念事業の記録を紐解きながら、60周年の記念事業をどのように進めていけば

よいか、式典担当と祝賀会担当に仕事を分担しながらも全員体制で準備を進めました。

式典係では、まず、この10年間にお世話になった先生方への表彰を行う。各校種の部会長さんに推薦をお願いし、統括事務局が三部会を開催する折に決定していただくこととしました。

式典の中で行う「この10年間の研究の歩み」については、記念誌担当の小学校部会がプレゼンテーションを準備してくださり、発表してくださいました。ありがとうございました。

祝賀会係が大変だったのは、何と言っても出席者の把握でした。10月8日開催の運営委員会の段階では、座席表も作れない状態でした。このあと各部会長さん、事務局長さんが精力的に動いてくださり、最終的には125名の出席を得て、盛大に開催することができました。表彰者の先輩の先生方を交え和やかな会にすることができました。

記念式典・祝賀会部会の部員の皆様のご努力・ご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。また、各部会の事務局の先生方のご協力にも心から感謝申し上げます。



## 「第61回 小樽・後志大会に向けて」

北海道算数数学教育会中学校部会副部会長  
小樽・北山中学校長 佐藤 了造

北数教会員の皆様には一年間の教育活動をしめくくる学期を迎える中、日々生徒たちの学びへの意欲や学ぶ習慣に心を削ぎながら教育活動に取り組まれていることと思えます。

さて、昨年10月に第60回記念北海道算数数学教育研究大会札幌大会が開催されて早5か月が経とうとしています。

平成18年度第61回大会から地区ブロック輪番制による大会が開催され、今後の研究大会の在り方を示す初年度の大会として第1ブロックに所属する小樽と後志が共同で開催することになりました。

今、様々な教育改革が進められる中で、「確かな学力」をはぐくむために授業時数の確保はもとより、指導方法、指導体制の質的な改善を図りつつ、実質的に指導に必要な時間を確保することが緊要の課題となっています。

このような当面の教育課程の現状と小樽・後志地区の現状を踏まえつつ、開催期日や特設授業の時間帯の有り様について

検討してきました。

第61回大会の開催期日につきましては、10月20日、21日の金曜・土曜日開催となります。

中学校部会の第一日目の日程は、午前中が小樽市生涯学習プラザで部会別講習会、午後から小樽市立菁園中学校で特設授業・授業分科会を行います。

特設授業については、小樽市算数数学教育会中学校会員が少ないこともあって、各学年1本の3授業公開となります。第2日目の日程は小樽市生涯学習プラザにおいて領域別分科会を開催いたします。

新たな地区ブロック輪番制に伴う開催の在り方に様々な課題もあるかと思いますが、北海道算数数学教育会の発展のため、研究会の広がりや深まりを継承すべく実行委員会を立ち上げ準備を進めているところです。

全道各地から多くの皆様の参加をお待ちしております。

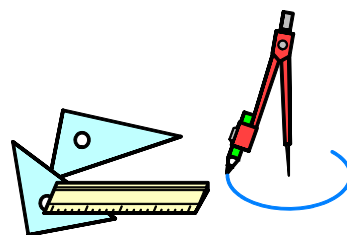
### 第61回小樽・後志大会 中学校部会の日程(予定)

#### 【1日目】 10月20日(金) 小樽市生涯学習プラザ・小樽市立菁園中学校

10:00	10:30	12:00	12:30	13:30	14:00	14:50	15:10	16:30
講習会 受付	講習会	開会式	昼食移動	受付	特設公開授業	移動	授業分科会	

#### 【2日目】 10月21日(土) 小樽市生涯学習プラザ

8:30	9:00	9:30	12:00	12:10
受付	開会式	領域別分科会	閉会式	



## 中学校部会会員の現状について

北数教中学校部会事務局長 札幌・向陵中学校 秦 豊治

中学校部会の会員制は平成13年度に実施され、今年で5年経過します。会員制を採用した主旨は、すでに会員制を取っていた小学校部会・高校部会との関係もありましたが、全道の組織づくりや・研究のネットワークづくりや人的交流の活性化であります。広く全道各地より中学校部会の活動に賛同される正会員を募集したのであります。

また、平成18年度の小樽・後志大会より研究大会開催地のブロック制が実施されます。今後は全道を5ブロック（1ブロック……石狩、後志、小樽 2ブロック……上川、旭川、宗谷、留萌 3ブロック……渡島、函館、檜山、胆振、苫小牧、室蘭、日高、空知 4ブロック……釧路、根室、十勝、帯広、網走 5ブロック……札幌）に分け、1年ごとの輪番で開催地区を決定します。輪番順は、1ブロック→4→5→3→5→2→1→5→4→5の10年サイクルとなっております。平成19年度は十勝での開催が決定しています。

会員数は約160人（平成16年度末現在）になりました。しかし、地区によっては会員数が僅か、またはゼロといった現状があります。研究大会開催地ブロック制の実施により、今まで以上にしっかりと地区組織が必要であり、そのため会員数の増加が急務であります。

中学校部会事務局会員部では、会員向けに年2～3回の会報の発行、各種研究大会の案内を始め、今年度からは次期及び次次期開催地区へ準備金をお渡ししています。今まで研究大会に参加された先生方は勿論、数学研究に関心のある全道各地の先生方を会員にお誘いし、中学校部会の研究の輪・会員の輪を広げていきたいと考えております。皆様のお力が必要です。ご協力をお願いいたします。

### ◎会費の納入方法について◎

会費の納入方法は以下のようにお願いいたします。

- ① 研究大会に参加される方につきましては、大会当日の納めていただきました。
- ② 大会に参加できなかった方につきましては、従来通り郵便振替で納めていただきます。（年度内に納めていただけたら幸いです）

この会報を含め、会員部の活動は会員の皆様から納められた会費で運営されています。

今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。

※ぜひお知り合いの方にも、入会をお勧めください。（お問い合わせは、事務局まで）

#### 〈編集後記〉

北数教中学校部会会報『すうがく』の第11号をお届けいたします。今年度は北数教60周年の記念大会で、様々な記念事業が行われました。来年度以降のブロック制に向けて準備も進んでいます。今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、同封いたしました17年度の会員名簿に誤りがありましたら、お知らせください。

この部会報で全道各地にいらっしゃる数学科の先生方が連携でき、情報交換のお役に立てばと願っております。また、ホームページ (<http://hokusukyuu-cyuu.com/>) もよろしくお願いいたします。

(文責 札幌八軒中学校 國島 孝夫)